

令和8年4月15日

## マダニ媒介感染症に注意しましょう

### 1 概要

ダニが媒介する感染症には、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」や「日本紅斑熱」などがありますが、4月14日に、大分市内でSFTSの発生が1例報告され、県内では今年に入って2例目の報告となりました。

マダニの活動が活発になる春から秋にかけては、マダニに刺される危険性が高くなります。マダニは、藪や草むらなどに生息しているため、マダニに咬まれないようにご注意ください。

また、SFTSは犬や猫にも感染するといわれていますので、ペットの散歩をする際には、ペット用のダニ駆除剤を使用したり、散歩後にペットの体の表面をチェックするなどの対策をお願いします。

※SFTSは、SFTSウイルスを保有しているマダニに刺咬されることにより感染します。

6日～2週間の潜伏期の後、発熱、消化器症状（食欲不振、嘔吐、下痢、腹痛）を主症状として発症し、重症化することもあります。

#### 【SFTS患者の状況（全数報告）】

	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)
全国	78	110	118	134	122	191* <sup>1</sup>	7* <sup>2</sup>
大分県	7	2	7	12	10	13* <sup>1</sup>	2* <sup>2</sup>

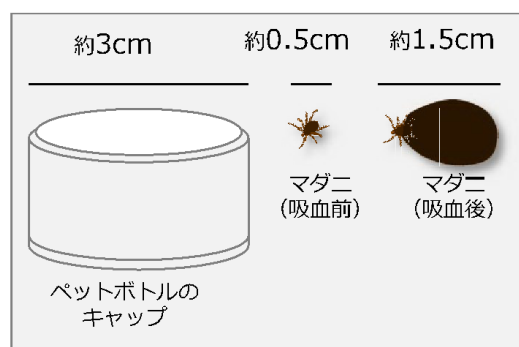
\*1 暫定値, \*2 2026年4月14日時点の速報値



タカサゴキララマダニ



タカサゴキララマダニ  
(吸血後)



## 2 マダニに咬まれないためのポイント

マダニは、野生動物が出現する野山や、民家の裏山、裏庭、畑、あぜ道などに生息しています。キャンプ、ハイキング、農作業などの山や草むらで活動する際は以下のポイントに気をつけて、マダニから身を守りましょう。

(1) 肌の露出を少なくする。

- ・長袖、長ズボン、登山用スパッツ、帽子、手袋等を着用し、首にタオルを巻く。
- ・シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる。
- ・足を完全に覆う靴を履く。（サンダルなどは避ける）

(2) 明るい色の服を着る。（マダニを目視で確認しやすくするため）

(3) 忌避剤（虫よけ剤）を使用する。

(4) 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認する。

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意する。

(5) ペットの散歩をする際には、ペット用のダニ駆除剤を使用したり、散歩後にペットの体の表面をチェックする。

## 3 マダニに咬まれたときの対処法

(1) 吸血中のマダニに気づいたときは、無理に取り除こうとせず、速やかに医療機関（皮膚科等）を受診してください。

(2) マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状があった場合は、医療機関で診察を受けてください。

## 4 参考

○マダニに注意しましょう！（健康政策・感染症対策課ホームページ）

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/12220/noyamatonisumudaninityuuisimashou.html>

○犬や猫から人へ感染するSFTSについて（食品・生活衛生課ホームページ）

<https://www.pref.oita.jp/site/doubutuaigo/20211224.html>

○ダニ媒介感染症（厚生労働省ホームページ）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

○マダニ対策、今できること（国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト）

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tick-borne-diseases/tick-prevention/index.html>

### 【問合せ先】

大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課

感染症対策班 手島、一ノ瀬

電話：097-506-2863、2665